

2026(令和8)年6月12日 報道発表資料  
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



さあ、探検だ! おまつりさわぎの2日間。  
家族や友達、お一人でも楽しめる。ロームシアター京都の夏休み恒例イベント

〈10周年記念事業〉  
**プレイ!シアター in Summer 2026 オープンデー**  
日時: 2026年8月15日(土) ~ 8月16日(日) 会場: 全館

[本リリースに関するお問合せ先]  
ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当: 山本、山形、儀三武  
電話: 075-771-6051 (10:00~17:00) FAX: 075-746-3366  
E-mail: [press@rohmtheatrekkyoto.jp](mailto:press@rohmtheatrekkyoto.jp) <https://rohmtheatrekkyoto.jp/>

## ■企画趣旨

“劇場で遊ぼう”を合言葉に、毎年たくさんの子どもたちが集まる大好評企画「プレイ！シアター」を今年も開催します！ロームシアター京都全館を利用した子どもから大人まで楽しめるイベントがもりだくさんです。ロームシアター京都は2016年1月10日に京都会館からリニューアルオープンし、2026年1月に10周年を迎えました。今年の「プレイ！シアター」では、tupera tuperalによるロームシアター京都10周年記念ビジュアルを中心に「くじらみたいな劇場のなかを探検だ！」をテーマとして開催します。

企画製作：ロームシアター京都

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

後援：京都市教育委員会、公益社団法人京都市私立幼稚園協会、公益社団法人京都市保育園連盟

協力：株式会社コングレ



## ■「プレイ！シアター」について

ロームシアター京都がリニューアルオープン1周年を迎えるにあたり、2017年1月10日～29日の20日間にわたり初めて開催した「プレイ！シアター」。「劇場で遊ぼう！」をキャッチコピーにより多くのみなさまにロームシアター京都を楽しんでいただくための特別企画として実施しました。

それ以降、毎夏「プレイ！シアター in Summer オープンデー」を開催。あわせてロームシアター京都のバックステージを巡ったり、建物の秘密を探ることのできる「劇場ツアー」、劇場のしかけを体験できる「舞台スタッフワークショップ」、世界レベルのパフォーマンスを子どもから大人まで楽しめる「ステージプログラム」も実施してきました。コロナ禍においては、「プレイ！シアター at HOME 2020」として、オンラインで実施を継続し、近年では、1万人を超える子どもたちとその保護者や仲間が集まる大人気イベントとなりました。



「プレイ！シアター in Summer 2025」の様子 SHINSEKI Inc.

## ■10周年メインビジュアルについて

「プレイ!シアター for the 10th anniversary オープンデー」のフライヤーメインビジュアルは、  
tupera tuperaによる鯨!

岡崎公会堂から京都会館、そしてロームシアター京都へ。時代とともに姿を変えながら場の記憶を継承してきた本劇場は、伝統芸能から現代演劇やダンスまで、多彩な表現を生みつづける文化の場でありつつ、併設するブック&カフェ、周りを囲む公園、寺社、文化施設など、様々な人々が交差する生活の場として、「劇場」の在り方をつねに刷新しつづけてきました。

そんなロームシアター京都らしさにカタチを与えたのは、京都を拠点に活躍するtupera tuperaです。俯瞰したロームシアター京都の建築の形の類似を起点に、京都の海をたゆたう「鯨=クジラ」にあやかり、劇場に宿るスピリットを具現化しました。奇しくも「鯨」には「京」の字が覗きます。多様な存在を包み、神話や芸術作品にも多く登場する創造と神秘的な生物である鯨は、ロームシアター京都という変化しつづける有機体そのもの。建築家・前川國男の設計、そしてそれを継承した香山壽夫の想いも宿して、海がどこまでもつながっているように、世界へ、未来へと、京都の海から波を起こしつづけます。誰かの何かの「つづき」がいつでも「はじまり」となる、生きた場であることを願って。

tupera tupera (ツペラ ツペラ)

10周年記念メインビジュアル原画展示

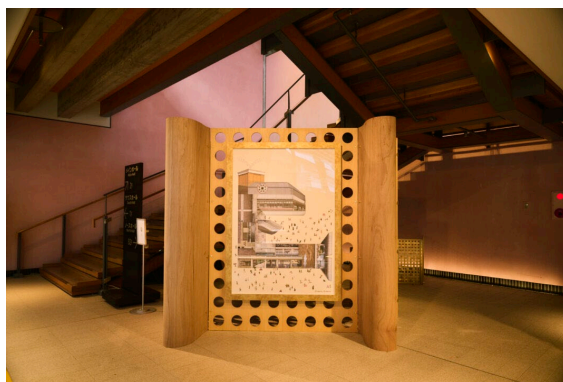
アート:tupera tupera 亀山 達矢、中川 敦子

デザイン:北原 和規 (UMMM)

写真撮影:山地 憲太 (SHINSEKI Inc.)

什器デザイン:ドットアーキテクツ

額縁:ガクブチのヤマモト



SHINSEKI Inc.

## ■tupera tupera (ツペラツペラ)

亀山達矢と中川敦子によるユニット。絵本やイラストレーションをはじめ、TVや舞台、空間のアートディレクションなど、様々な分野で幅広く活動している。著書に「かおノート」(コクヨ)「やさいさん」(Gakken)「いろいろバス」(大日本図書)「うんこしりとり」(白泉社)など多数。海外でも多くの国で翻訳出版されている。NHK Eテレの工作番組「ノージーのひらめき工房」のアートディレクションも担当。絵本「しろくまのパンツ」(ブロンズ新社)で第18回日本絵本賞読者賞、Prix Du Livre Jeunesse Marseille 2014(マルセイユ 子どもの本大賞 2014)グランプリ、「パンダ銭湯」(絵本館)で第3回街の本屋が選んだ絵本大賞グランプリ、「わくせいキャベジ動物図鑑」(アリス館)で第23回日本絵本賞大賞を受賞。2019年に第1回やなせたかし文化賞大賞を受賞。

tupera tupera 公式WEBサイト  
<https://tupera-tupera.com/>



photo shingo mitsuno

## ■京都市交響楽団 0歳からの夏休みコンサート ～くじらの大冒険～

赤ちゃんの泣き声も大歓迎♪ 0歳から参加可能な、京都市交響楽団によるオーケストラコンサート。パントマイムやジャグリングのパフォーマンスとともに音楽を通して世界中を旅する、特別なひとときです。

日時：8月15日(土) ①11:00開演(10:15開場)、②14:00開演(13:15開場) 上演時間：約60分

会場：メインホール 料金：全席指定1,000円(税込)

※0歳からご入場可 ※3歳未満の膝上鑑賞は無料

※3歳以上要チケット(昨年度までご用意していた、未就学児無料のチケットはございません)

指揮：辻博之 出演：大熊 隆太郎(パントマイム)、渡辺 あきら(ジャグリング)

オーケストラ：京都市交響楽団

プログラム：チャイコフスキー／バレエ組曲『くるみ割り人形』より「中国の踊り」

「ロシアの踊り」、外山雄三／『管弦楽のためのラプソディー』より「八木節」ほか

### プロフィール

#### 辻 博之

1984年北海道生まれ。東京藝術大学音楽学部声楽科在学中からオペラ指揮者としての研鑽を積み、2017年オーケストラ・アンサンブル金沢定期公演を指揮してデビュー。札幌響、読響、東京フィル、大阪フィル、兵庫PAC 管、九響等と共演を重ねている。2021年には東京芸術劇場シアターオペラ 團伊玖磨《夕鶴》を指揮し、『音楽現代』誌に「活躍を期待する指揮者」として取り上げられた。舞台作品への劇音楽の作曲や、ディズニー・オン・クラシック等、垣根の無い音楽活動も積極的に行う他、幼児や子供との音楽活動に力を注いでおり、楽しいお話を交えた家族で楽しむコンサート、赤ちゃんと一緒に参加できる合唱団等、〈音楽を未来に繋げる〉活動も積極的に行なっている。



◎深谷義宣

#### 京都市交響楽団

1956年創立。日本で唯一、自治体が運営に責任を持ち、〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉文化芸術都市・京都の象徴となるオーケストラを目指している。23年第14代常任指揮者に沖澤のどか、24年首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリントが就任。京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動等、多彩な活動を行っている。



◎井上写真事務所  
井上嘉和

#### 大熊 隆太郎

演出家、パントマイムパフォーマー。演劇とマイムを融合させたパフォーマンスが特徴。劇団吉劇屋の代表で、観客参加型の作品を多く上演している。同劇団で令和四年度大阪文化祭賞 奨励賞を受賞。京都でロングラン15年目の舞台、ノンバーバルシアター『ギア』にもレギュラー出演中。



#### 渡辺 あきら

ジャグリングパフォーマー。京都大学在学中にジャグリングと出会い、プロパフォーマーの道へ。スタイリッシュなジャグリングと爽やかな笑顔を武器に、イベントから舞台公演、ジャグリング指導など 様々なシーンで幅広く活動中。ももいろクローバーZ 5大ドームツアー「DOME TREK 2016」出演や「なにわ男子」へのジャグリング指導、豪華客船でのクルーズショーのほかコンテスト受賞、メディア出演多数。京都でロングラン15年目の舞台、ノンバーバルシアター『ギア』にもレギュラー出演中。



## ■スタジオ☆ムジカ！

### ～「ひらめき！音さがし」と「みんなで合奏ステージ」～

ロームシアター京都10周年記念メインビジュアルから広がる“音のイメージ”を、さまざまな楽器を体験しながら自由に楽しむ「ひらめき！音さがし」と、みんなで音を重ねる「みんなで合奏ステージ」。参加しても、聴くだけでもOK！プロムナードに展示されているメインビジュアルを見てから、音の実験を楽しもう！

#### 【ひらめき！音さがし】

メインホールのステージ上に、いろんな楽器などが並んでいます。どんな音がするかな？自分の好きな音が出るお気に入りを見つけよう。

#### 【みんなで合奏ステージ】

その時に集まったみんなとスタジオ☆ムジカ！で合奏しよう。スタジオ☆ムジカ！が演奏する曲に合わせて、思い思いに音を重ねてね。

日時：8月16日（日）

#### 【ひらめき！音さがし】

10:00～16:00

#### 【みんなで合奏ステージ】（各回10分程度）

①11:30、②12:30、③13:30、④14:30、⑤15:30

会場：メインホール

アーティスト：移動おんがく実験室スタジオ☆ムジカ！

※無料・申込不要・入退場自由



## プロフィール

### 移動おんがく実験室スタジオ☆ムジカ！

だれもが音の楽しさに熱中できる、こどもたちのための「体験型おんがく室」をつくるプロジェクト。異なるバックグラウンドを持つ5人の音楽家の個性を活かして、こどもから大人まで楽しめる参加型の音楽プログラムを考案し、さまざまな楽器との出会いと音楽に参加する楽しさを各地に届けている。2021年に京都市で活動を開始し、これまでに5県8都市の学校や学童、保育園、こども食堂、教会、コンサートホールなどでワークショップやコンサートを開催。現在は、シェア型図書館のあるまなび基地「knocks! horikawa」（堀川商店街内）を拠点に活動を続けている。



左から渡辺 亮、黒坂 周吾、三宅 良、永田 充、小島 寛大

## プロフィール

### 渡辺 亮 (パーカッショニスト・美術家)

武蔵野美術大学卒業。在学中よりブラジルのパーカッション・創作楽器を中心に音楽活動を始め、数多くのレコーディング、コンサートに参加する。また、東京・青山の「こどもの城」講師を経て、佐渡鼓童アース・セレブレーション、いわき芸術文化交流館アリオス、横浜美術館、国立民族学博物館、小泉八雲記念館等、全国でパーカッションのワークショップを行っている。ソロアルバムに「ウォレス・ライン」「モルフォ」、出版物に「レッツ・プレイ・サンバ」(共著 / 音楽之友社)がある。自己の活動として、美術と音楽が共存できるプログラム「音と妖怪」、「美術と音楽」を主宰している。

### 黒坂 周吾 (うた / ギター / 作詞・作曲)

京都に拠点を置き、国内・海外で演奏活動を行なう和太鼓ロックバンド「BATI-HOLIC」や、二人組ユニット「くるとたま」、ソロ名義の弾き語りなど様々な編成の中で作詞作曲を行ない、時にギターやゴッタンを弾きながら歌い、時に太鼓にのせながら歌い、各地で多数の公演を行なう。その傍ら、各地の祭や郷土芸能の研究・交流に取り組み、近年では「津軽半島さきっちょ郷土芸能祭」のテーマ曲・総司会を担当。また一方で、京都市内の複数の学校で和太鼓の講師を担う他幼児から大人まで外国人なども対象としたワークショップにも日々取り組んでいる。

### 三宅 良 (三味線・ペットボトル三味線)

2006年より長唄三味線を始める。京都市を中心に邦楽のライブやワークショップイベントを企画している。ペットボトルを用いた自作三味線【ペットボトル三味線】は、NHKワールドTVが製作している『Core Kyoto』にも紹介された。また、ライフワークとなっている”ペットボトル三味線ワークショップ”は野外音楽イベントやマルシェなどでも出張開催しており、子供も大人も気軽に参加して楽しめる企画として人気を集めている。三味線をBGMにした自作の紙芝居(作家名:やけおこし)もマニアックな人気を得ている。

### 永田 充 (パーカッション)

ドラマーを目指す傍ら、勉強として取り組み始めた和太鼓に端を発し、様々な世界の音楽と交流してパーカッションの表現を学ぶようになる。特にアラブの片面太鼓“ダルブッカ”においては国内を代表する奏者として知られ、映画『燃えよ剣』(司馬遼太郎原作 / 原田真人監督 / 岡田准一主演、2021年)、NHK Eテレ『おかあさんといっしょ なつやすみスペシャル ふしぎなテント』(2012年)等で演奏。2025年、大黒摩季全国ツアー“-55 RED-”全17公演に出演し、持ち前のショーマンシップ溢れるパフォーマンスで観衆を魅了した。

### 小島 寛大 (キーボード / 構成・作詞・作曲)

アートマネージャー、エドューケーター。コジカレーベル代表、芸術文化観光専門職大学 助教。2021年にコジカレーベルを立ち上げ、「移動おんがく実験室スタジオ☆ムジカ!」や「こども音楽クラブTone Tone」の企画、knocks! horikawa(堀川商店街)の協同運営を行う。東京藝術大学大学院音楽研究科を修了後、京都芸術センター(京都市芸術文化協会)、NPO法人アートネットワーク・ジャパン、フリースランスを経て現職。京都市と豊岡市の二拠点で、こどもを対象とするアートプログラムの実践と研究を続けている。

## ■メインホールけんがく!

ロームシアター京都で一番大きいホール!客席から舞台を見てみよう。

日時:8月16日(日) 10:00~16:00

会場:メインホール

※無料・申込不要・入退場自由

## ■げきじょうクルーズトレイン～パフォーマンス大集合！～

パフォーマンスをめぐる旅へ出かけよう！

ダンス、狂言、コーポリアルマイムの3つの演目を連続上演。

各ステージの後には、体験コーナーもご用意しています。

ステージと客席の垣根を超えて、新しい世界に触れてみよう！



SHINSEKI Inc.

8月15日(土)、16日(日) 両日①10:15～12:00(10:00開場) ②13:15～15:00(13:00開場)

会場：サウスホール

コンシェルジュ：ボブ・マーサム (THE ROB CARLTON)

出演：ダンス | セレノグラフィカ

狂言 | 茂山忠三郎家

コーポリアルマイム | tarinainanika

### プロフィール

#### ボブ・マーサム (THE ROB CARLTON)

京都を拠点に活動するTHE ROB CARLTONのキャプテン。

全公演の作・演出を手掛ける村角太洋とは同一人物。

なにげに文士劇「放課後」の脚本・演出や、大阪松竹座さよなら公演舞台「じゃりん子チエ」の演出、松竹新喜劇の脚色・演出、外部への書き下ろしも。「タローマン」シリーズ高津博士役の他、様々な映像・舞台作品に出演。

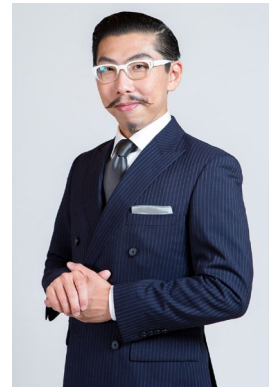


Photo by Toru Imanishi

#### セレノグラフィカ (隅地 茉歩、阿比留 修一)

男女二人組のダンスカンパニー。多様な解釈を誘発する不思議で愉快的な作風と、緻密な身体操作から繰り出されるダンスで、多くの世代に受け入れられている。セレノグラフィカとしての公演活動の他、振付提供、市民参加作品創作、音楽や美術ジャンルのアーティストとのコラボレーション、教育機関などへのアウトリーチなど、関西を拠点に幅広く活動を展開。「身体と心に届くダンス」を追究中。2005年に隅地がTOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD「次代を担う振付家賞(グランプリ)」を受賞。

<http://www.selenographica.net/>

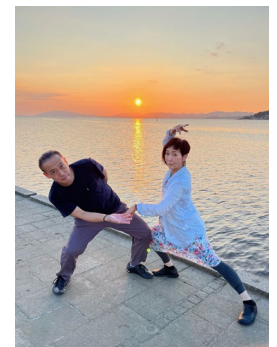


photo:shimayu

#### 茂山 忠三郎

能楽師 大蔵流 狂言方

茂山忠三郎家 五世当主

重要無形文化財総合指定保持者

宝塚歌劇団講師

京都橘大学客員教授

京都芸術大学非常勤講師

大阪府東住吉高等学校特別非常勤講師

2013年文化庁芸術祭賞新人賞受賞

2016年京都府文化賞奨励賞受賞

2019年京都市芸術新人賞受賞

2017年家名五世茂山忠三郎を襲名



## プロフィール

### tarinainanika

20世紀フランス演劇界の巨匠、エティエンヌ・ドゥクローによって構築された舞台芸術「コーポリアルマイム」を専門とするシアターカンパニー。

代表の嵯山賢太郎とタニア・コークは、英国ロンドンにて、ドゥクローの最後のアシスタントであるスティーヴン・ワッツソン、コリン・スウムに長年師事し、両氏が主宰するテートル・ドゥ・ランジュ・フォーに所属した経歴を持つ。

2011年のカンパニー設立以来、コーポリアルマイムを継承する第三世代のアーティストとして、クリエイションとエデュケーションを両輪に、国内外で活動を展開。言語の壁を超える身体表現と洗練された演技に定評がある。

2020年、大阪市東成区に活動拠点となるアトリエ「FLYING CARPET FACTORY」を設立。日本で唯一のコーポリアルマイムに特化した舞台芸術学校を開校するとともに、幅広い分野のアーティストを支援するレンタルスペースを運営。育成・創造・発信・交流の場を提供している。

<https://www.tarinainanika.com>

<https://www.instagram.com/tarinainanika/>

<https://x.com/tarinainanikajp>

<https://www.facebook.com/tarinainanika>



撮影：本田史郎

## ■tupera tuperaのむくむくあそびば

ノースホールがくじらの胃袋になっちゃった！

日時：8月15日（土）、16日（日）

【プランクトンに変身して、おどれるワークショップ】

両日10:00～15:15（最終受付14:30）

【tupera tupera とプランクトンによる大盆踊り大会】

両日15:15～

会場：ノースホール

アーティスト：tupera tupera

※無料・申込不要・入退場自由

※15:15～からの大盆踊り大会に参加する人は、

14:30 までにワークショップに参加してね♪



10周年記念メインビジュアル

## ■ロビーコンサート

京都市立芸術大学の学生による「劇場の音楽室」の授業や、クラシック音楽のコンサートを楽しもう♪

日程：①8月15日（土）：のび～る！なが～い！とろんぼ～んコンサート！

②8月16日（日）：プレイ！シアター特別授業編～子どものための劇場の音楽室

両日12:15～12:45

会場：サウスホール1F ロビー

出演：①砂川 透吾、池下 鷹、東浦 陽人、岡野 琉太郎・トロンボーン

②中山 愛実、田島 翔太郎・フルート、飯田 華怜・ピアノ、六車 天音・お話

※無料・申込不要・入退場自由

## ■Olá! ゆかいな マリオネット広場

ポルトガルにちなんだ人形劇や写真がもりだくさん! 伝統的な人形に触れられる体験コーナーもあるよ。

日時: 8月15日(土)、16日(日)

【写真展示】両日10:00~16:00

【パフォーマンスタイム】①10:10、②11:30、③13:10、④14:30(上演時間:約20分)

※①③は終演後に体験コーナーあり

会場: パークプラザ3F 共通ロビー

人形・パフォーマンス: 糸あやつり人形劇団みのむし(②③)、田中 ベにこ(①④)

※無料・申込不要・入退場自由



SHINSEKI Inc.

## プロフィール

### 飯室 康一

1948年生まれ。京都市出身。高校卒業後1966年東京の伝統的糸あやつり人形劇団「竹田人形座」に入門。1970年退座。その後フリーでテレビなどの仕事を中心に活動する。1973年関西に移り、「糸あやつり人形劇団みのむし」を旗揚げ。幼稚園、保育所、小学校、TV子ども番組にも出演。製作した人形の数、1000体以上。2010年、京都に劇団の常設劇場「あとリエミノムシ」を設立し、定期公演開始。2025年一般社団法人「SOL' TA」の理事に。



### 糸あやつり人形劇団みのむし

京都出身の飯室康一が主宰する劇団で、1975年に関西で創立されました。

出張(移動)公演と人形製作を中心に、保育所・幼稚園・学校・図書館・小ホールから地域のお祭りやデパートのイベントまで、子どもたちが集まるさまざまな場所に出向いて上演を行っています。

「おとなも子どもも、おなかの底から笑い、目を輝かせる」ひとときを人形劇を通して届けています。



## プロフィール

### 田中 ベにこ

(Beniko Tanaka /ポルトガル在住人形劇作家、プロデューサー、一般社団法人 SOL' TA ソルタ 代表理事)

1976年山形に生まれ、東京で育つ。多摩美術大学立体デザイン科卒業後、ヨーロッパに渡る。2005年よりポルトガルに移住。国立リスボン大学にて文学部文化研究科ポルトガル語コース修学、2006年、リスボン・アート&コミュニケーション・インスティテュート・AR.COに編入。2010年、同校ファインアート最上級課程を修了。2013年、ファブリッチオ・モンテッキ(テアトロ・ジヨコ・ヴィータ、イタリア)に師事、影絵舞台劇を学ぶ。国立リスボン大学大学院美術学部にて、ポルトガル伝統人形劇をテーマに身体上でのコミュニケーション教育の重要性を研究、2024年、同校芸術教育学科修士課程を修了。数々の教育機関で講演や影絵劇教育を行う。

2014年にイタリア・ヴェネチア音楽学校と協力しヴェネチアン・ビエンナーレにおいて影絵オペラ&オーケストラ公演を実現。ポルトガルにおいては国立映画博物館・シネマテカポルトゲザ・ジュニアに自身の影絵人形作品が収められている。劇場公演、ソロ・パフォーマンスを制作するかたわら、在ポルトガル日本大使館、在スペイン日本大使館とも協力し、日本と両国間を繋ぐアート・プロジェクトをプロデュース。2021年には「リスボン音頭」の製作を手掛け、リスボン市民が楽しむ夏祭りの恒例となっている。2025年、将来への更なる交流へのチャレンジとして一般社団法人SOL' TAを設立、その初のプロデュース企画として京都からポルトガルへ人形劇団を召喚し、エスピーニョ、リスボン、エヴォラの三都市でのツアー公演を成功させるなど国際文化交流活動にも精力的に努めている。同年2025年、ポルトガル国営テレビRTPIによるドキュメンタリー(ビデオ12:50~) <https://www.rtp.pt/play/p15831/e892822/10-mil-km-de-regresso-ao-japao>にて自身の仕事を広く紹介され、多くの劇団にパフォーマーとして公演を依頼される。2026年5月にはAinhoa Vidal(スペイン、ポルトガル)の作品に招かれフランス、パリTeatre De la Villeの協力公演も行っている。



## ■わくわくワークショップ&マルシェ

子ども向けのワークショップ&マルシェブース。

フードの販売もあるよ!

日時: 8月15日(土)、16日(日) 両日10:00~16:00

会場: プロムナード、2F共通ロビー、

パークプラザ3F 共通ロビー

【ワークショップ】

京都芸術大学子ども芸術学科「あんふあんずー」『へんてこ夏祭り』、KYOTO EXPERIMENT 他

【マルシェ(フード)】

京都おむすび Cafe れりまの、岩井製菓、CORE LAND、Café ALMA、ROCKBOOKKITCHEN、Hanachan

Café、手づくりサンドの店 華ぜる-gazell-

共催: 京都岡崎 蔦屋書店

※一部有料 ※詳細は京都岡崎 蔦屋書店WEBページをご覧ください。



SHINSEKI Inc.

## ■画材がめぐる 『巡り堂』

役目を終えた画材たちをレスキューし、つぎのだれかにお渡しする『巡り堂』の循環を体験しよう！  
お絵かき&工作コーナーもあるよ♪

日時：8月15日（土）、16日（日）両日10:00～16:00

会場：2F共通ロビー

企画・画材提供：画材循環プロジェクト「巡り堂」

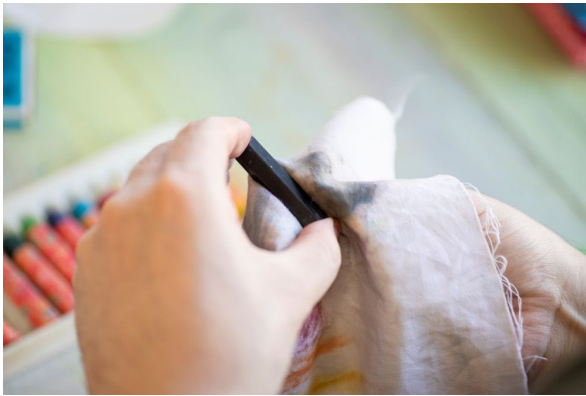


Photo Mai Narita



SHINSEKI Inc.

## ■探検！ロームシアター京都ワークラリー

まずは特設総合案内で、ワークシートをもらおう！

館内をぐるっとまわってぜんぶのポイントをクリアできたら、オリジナルステッカーがもらえるよ♪

日時：8月15日（土）、16日（日）両日10:00～16:00

受付：プロムナード 特設総合案内

## ■乳幼児のためのきゅうけいスペースぎんがてつどう「ゆめのたび」

日時：8月15日（土）、16日（日）両日10:00～16:00

会場：パークプラザ3F 会議室 企画・運営：京都芸術大学こども芸術学科「あんふあんずー」

## ■障がい児を育てる親たちによる写真展「しあわせのかたち」

日時：8月15日（土）、16日（日）両日10:00～16:00

会場：プロムナード 主催：トコトコの会京都

## ■マリオネット展示

日時：8月15日（土）、16日（日）両日10:00～16:00

会場：プロムナード 人形：糸あやつり人形劇団みのむし

## ■絵本よみきかせ by KIYONOE(絵本作家)

日時：8月15日(土)、16日(日) 両日①11:00、② 12:30、③ 14:00

会場：2F共通ロビー

## ■8月15日・16日以外のプレイ!シアター プログラム

### ■舞台スタッフワークショップ

劇場のしくみを体験しよう!

日時：8月12日(水) ①10:30~12:00 ②14:00~15:30

8月13日(木) ①10:30~12:00 ②14:00~15:30

※参加時間：約90分

会場：サウスホール

定員：各回15名程度(先着順・要事前申込)

料金：1名1,000円(当日受付精算)

ナビゲーター：村上 慎太郎(夕暮れ社)

講師：ロームシアター京都 技術課

※対象：小学2~6年生。対象学年以外は参加不可(同伴者としての見学は可能)

※おひとり様につき複数回のお申込みはお控えください。

※ご友人や兄弟・姉妹と同じ回をご希望される場合も、お一人ずつお申込みください。

※申し込まれたタイミングで定員数を超えていた場合、参加をお断りする可能性があります。

予めご了承ください。

申込先：<https://rohtheatrekyoto.jp/join/153046/>

申込受付開始：6月20日(土) 10:00~(先着順)

## プロフィール

### 村上 慎太郎

1984年京都市生。中学より舞台に携わり、2005年京都造形芸術大学映像・舞台学科舞台コース在学時に劇団「夕暮れ社」を結成。作風としては、公演毎に、俳優が転がり続けつつ、土嚢袋をぶん投げつつ、自転車で走り回りつつ、などの身体的な演出のルールを俳優とつくり、死生観や恋愛観などの人間の苦悩や葛藤を上演した作品が多くある。過去には、2008年次代を担う新進舞台芸術アーティスト発掘事業 CONNECT vol.2 大賞、2014年 高槻現代劇場新進気鋭演出家コンクール大賞、2017年第24回OMS戯曲賞最終選考ノミネート、2019年関西演劇祭審査員特別賞を受賞などがある。他にはテレビドラマの脚本や、新作狂言、落言、市民劇団(京都「デマチカヤナギ」・大阪「水曜の家族」)の作・演出などの活動もある。



## ■<ステージプログラム>

### アガット&アドリアン『ノ.ルムーふたりのバランスー』

#### from ケベック (カナダ)

カナダのケベック州を拠点に活動するアガット&アドリアンによる『ノ.ルム』は、アクロバティックな技術やダンスを巧みに融合させ、パワフルでコミカルなアクロバットとストーリーテリングの要素を織り交ぜた魅力的なステージ。彼らはハンド・トゥ・ハンドやイカリアン・ゲームといったサーカス技術を駆使し、迫力あるパフォーマンスを披露します。

タイトルの『Normes』とは、フランス語で「きまり」「当たり前」のこと。それに「No」と言ってみよう。というのがこの作品のテーマ。二人の主人公は、協力と対立を繰り返し、舞台を戦いのアリーナのように変えていきます。しかし、関係が進むにつれて固定観念やアーキタイプは次々と崩れ、力や柔軟性を通じて、二人の友情や公平さを求める冒険へと変わります。

このショーが伝えたいメッセージは、体の大きさや性別にとらわれることなく、限界を設けずに自分の夢や目標を追い求めることの大切さです。女性は強くてたくましく、男性もやさしくて脆弱であってもよい。性別に関係なく、人生は自分が選んだ通りに歩いていける！という希望に満ちたメッセージが込められています。

※0歳からご入場可

※観劇の推奨年齢:10歳以上(年齢制限はございませんが、暗くなったり静かになる場面があります。目安として10歳以上の方のご鑑賞をおすすめします)。

日時:7月18日(土)14:00開演/7月19日(日)13:00開演 ※会場は開演の30分前

会場:ノースホール

上演時間:約60分

チケット料金:全席自由(税込)

おとな2,000円(会員価格1,800円)、こども(18歳以下)800円、

おとな+こどもペア:2,500円

チケット発売:5月23日(土)

お問い合わせ:ロームシアター京都チケットカウンター TEL:075-746-3201



Photo Thibault Carron

### 【放課後かんげきプログラム】

ロームシアター京都では、7月18日・19日に上演するコンテンポラリー・サーカス作品、アガット&アドリアン『ノルムーふたりのバランスー』from ケベック(カナダ)で、13歳以上~18歳以下のみなさまを対象にした特別な「放課後観劇プログラム」を開催! 作品鑑賞に加え、終演後にはアーティストと直接感想をシェアしたり交流したりできる、スペシャルな観劇プログラム! コンテンポラリー・サーカスを見たことが無い人や国際交流に興味のある人、大歓迎!“劇場ってちょっとハードル高い…”なんて思っていたあなたも、きっと新しい発見が待っています。

日時: 7月18日(土) 14:00開演

※アーティストとの交流会は15:30~16:00を予定しています。

会場: サウスホール

対象: 13歳以上~18歳以下の方

※先着順。定員に達し次第、受付終了。

※公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書(学生証、保険証、マイナンバーカード等)をご提示ください。

※チケット料金は当日会場にてお支払いください。

募集人数: 定員10名

応募締切: 2026年7月11日(土) 23時59分

### <ステージプログラム>

## コンパニー・デ・ミュタン × サイド・ショー共同制作

### 『やさしいカクメイ』 from ベルギー

世界をぐるりと歩く、3人の物語

3人の友だちは、森をぬけ、山をのぼり、海をながめ、3日と2晩の小さな旅をします。

旅のなかでは、靴の中に入った小さな石ころや、ぶんぶん飛ぶ蚊、夜のたき火や子守歌など、何気ない出来事が少しずつ変化し、やがて想像の世界へと広がっていきます。

\*\*\*\*\*

「やさしいカクメイ」は、誰もが安心して楽しめる“リラックス公演”です。“劇場では静かにしなければならない”“途中で席を立ってはいけない”そんなルールに不安を感じる方のために生まれた作品です。

上演中の出入りは自由! 強い光や大きすぎる音は使いません! 声を出しても大丈夫! “ちゃんとできるかな”と心配しないでいい舞台です。

※観劇の推奨年齢: 2歳半~ ※0歳からご入場可



上下とも: Photo Hubert Amiel

## リラックス公演の出発点

本作の創作の出発点には、トゥレット症候群をもつこどもが劇場環境では観劇が困難であるという、現状への気づきがありました。ニューロダイバーシティの考え方にに基づき、神経多様性のある観客にも開かれた舞台、厳格なルールや過剰な刺激に代わり、自分のペースで楽しめる観劇体験を大切にしています。

すべての観客を包含する芸術的な配慮が評価され、2024年8月HUY（ユイ）青少年向け劇場フェスティバルにおいて受賞し、現在、世界中で上演されています。

日時：7月25日（土）14:00開演、7月26日（日）11:00開演／14:00開演 ※会場は開演の30分前

会場：ノースホール

上演時間：約60分

チケット料金：全席自由（税込）

おとな1,800円（会員特別価格1,700円）、こども（18歳以下）500円

おとな+こどもペア：2,000円

チケット発売：5月23日（土）

お問い合わせ：ロームシアター京都チケットカウンター TEL:075-746-3201

## ■劇場の音楽室「場所に宿る音楽、音楽に残る記憶」

### 【展示】

「劇場の音楽室」では、京都市における文化発展の歴史を簡潔に辿り、つぎに、人の記憶と音楽とのかかわりについて心理学的視点を踏まえて考えます。さらに、みなさまの学校における音楽経験、これまでの音楽にかかわる記憶、ここ岡崎の地にまつわるエピソードなどをお寄せいただくことで展示室が作られていきます。新しい音楽の聴き方ができる、楽しい動画コンテンツもご覧ください。



### 【「劇場の音楽室」の授業 ロビーコンサート】

一度は耳にしたことのある名曲に、大人になった今だからこそ、出会いなおしてみませんか？ 成り立ちやこぼれ話と共に、京都市立芸術大学の学生によるフレッシュな演奏を楽しんでいただくことは、きっと素敵な再会となるでしょう。授業当日は、リハーサルの様子もご覧いただけます。是非一度覗いてみてください！

※スケジュールについてはロームシアター京都WEBサイトをご参照ください。

展示期間：4月28日（火）～ 9月6日（日）10:00～17:00

会場：ミュージックサロン（パークプラザ3F）、1Fプロムナード